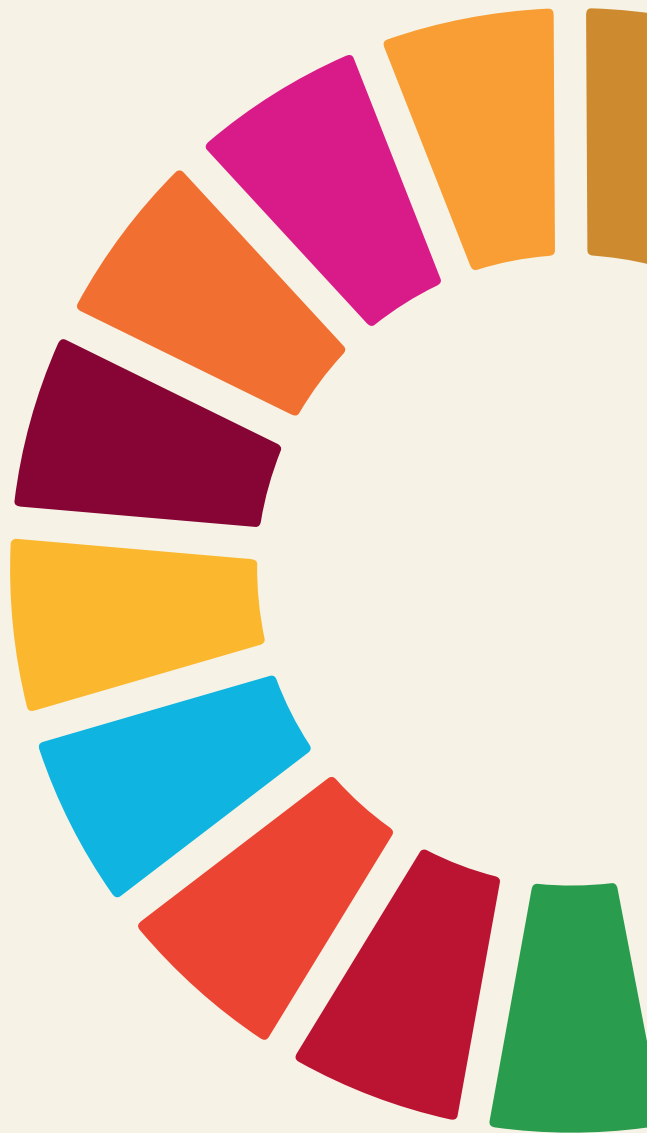




ビクトリーグループ サステナビリティ レポート 2025.10-12

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



はじめに



平素よりビクトリーグループの事業活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちは、事業活動を通じて日々多くの資源を消費しているという事実を真摯に受け止めています。だからこそ、持続可能な社会の形成に向けた活動を惜しみなく実行していくことは、私たちの重大な責務であると考えております。

こうしたSDGs活動をより効果的に広げ、人・資金・情報といった経営資源の良質な循環を維持していくためには、事業の継続的な成長が不可欠です。そしてその成長は、当社を支えてくださるお客様の存在なくしては成し得ません。

そこで私たちは、お客様からお預かりした廃棄物の処理量に応じ、1m³につき10円を「SDGs予算」として積み立てる独自の取り組みを行っております。この予算は、私たちが推進する環境・社会貢献活動の大切な原資となっており、不足が生じる場合でも、目標達成のために積極的に追加予算を投じていく決意です。お客様とのこのパートナーシップこそが、私たちの活動の原動力であることに、心より感謝申し上げます。

本レポートは、皆様のご協力が具体的にどのような成果に結びついたのかをご報告するものです。

2025年10-12月期においては、太陽光発電と資源循環の推進により合計約1.35tのCO₂削減を達成いたしました。また、地域社会への継続的な支援に加え、従業員の健康と安全を守る「健康経営」への取り組みが評価され、「健康優良企業 STEP2認定」を取得するなど、多方面で着実な成果を上げることができました。

事業を通じた環境負荷の低減から、地域社会の未来を支える活動まで、皆様と共に歩んだこの3か月の軌跡をぜひご覧ください。



ご依頼
廃棄物量(m³)



10円の予算で
当社が行う
SDGs活動を広げていきます。



当社を通して
間接的に取引先の
企業様もSDGs活動
に参加しています。

2030年目標



当社グループは、持続可能な開発目標（SDGs）達成に貢献できるように、一つ一つの課題に長期的視点で取り組み、従業員・顧客・取引先・地域社会など、あらゆるステークホルダーにとって必要な存在となるように、そのうえで、当社グループが事業を継続的に成長させるための7つの課題を設定しました。

7つの課題と該当する17の目標	これまでの取組実績	今後の課題
<p>カーボンオフセット</p> 	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ運動 植樹活動・寄付活動 森林保全 自家消費発電システム(太陽光発電システム) 電気自動車の導入(営業車) 	<ul style="list-style-type: none"> 工場・事務所 省エネ運動 スコープ3 RE100 再生エネルギー導入
<p>廃棄物と資源</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 解体工事における分別解体・分別排出及びリノベーションにより既存躯体の再利用 処理施設における徹底分別・新たな再資源化技術の導入 DX→ペーパーレス化 グループ拠点で発生する古紙・段ボールの定期回収→リサイクル（非焼却化） 	<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入 雨水利用（洗車）
<p>生活環境・公害対策</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 地域清掃活動 石綿調査事業立ち上げ 法改正（工事前の事前調査）の受け皿として当然飛散防止解体工事も含む フロン放出抑止 法改正周知・遵守・普及活動 	
<p>労働環境改善と健康経営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 各種資格取得制度の拡充 各種セミナーの受講 各部門 品質向上・顧客満足向上 PDCA会議 男性育児休業等推進宣言企業の登録運動支援 協会けんぽ 健康経営宣言 	<ul style="list-style-type: none"> ストレスチェック 喫煙率削減 八潮市内シェアアワー・子育て支援 健康経営優良法人・ブライト500 エコ検定・SDGSマスター 電気ユニボの導入
<p>働きがい・人財教育</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 各種資格取得制度の拡充 各種セミナーの受講 各部門 品質向上・顧客満足向上 PDCA会議 	
<p>地域社会への貢献</p> 	<ul style="list-style-type: none"> こども食堂活動支援 乳児院・孤児院・各自治体の子ども支援事業への寄付活動 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時協定（八潮市） 災害時協定（三郷市）
<p>その他の取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県SDGsパートナー活動 エコアクション21活動 優良認定取得 	<ul style="list-style-type: none"> BCP（事業継続計画）の策定 障がい者・高齢者雇用 ガバナンス強化 ビクトリー森づくり（キャンプ場・森林植樹） コンプライアンス強化

活動遍歴



年表	取り組んだSDGs活動	該当する17の目標
2025年10月	<ul style="list-style-type: none"> 収集部エコドライブコーチング研修会の実施 埼玉県秋のプラごみゼロウィーク 地域清掃活動実施 子ども食堂 運搬支援 ハーベストジャパンさんから子ども食堂さんへ食品の運搬 群馬県 産業廃棄物収集運搬業 優良認定更新 	
2025年11月	<ul style="list-style-type: none"> 地域清掃活動の実施 協会けんぽ 健康優良企業STEP2認定 社内研修 丸のこ等取扱い作業従事者教育 茨城県 産業廃棄物収集運搬業 優良認定更新 	
2025年12月	<ul style="list-style-type: none"> 川口乳児院さんへクラウドファンディング寄附 定例寄附品お渡し 	

太陽光・資源循環の成果

月	段ボール(kg)	古紙(kg)	合計(kg)	CO ₂ 削減量(kg)
10月	210	30	240	82
11月	400	90	490	167
12月	290	260	550	187
合計	900	380	1280	436

【該当する課題】 カーボンオフセット



当四半期（10-12月）、太陽光発電の活用と資源循環の徹底によって、合計約1.35tのCO₂を削減しました（太陽光由来 920.47kg、リサイクル由来 436kg）。太陽光発電は総発電量2,121kWh、うち1,652kWhを自家消費し、電力起因の排出を直接抑制しました。これはスギ成木換算で約65本に相当し、冬期の電力需要に対してもクリーンエネルギーの活用を継続しています。資源循環では、各拠点で排出される段ボール・古紙を回収し、3か月合計で1,280kgを資源化しました。

月	発電量(kWh)	売電量(kWh)	買電量(kWh)	消費量(kWh)	自家消費量(kWh)	CO ₂ 削減量(kg) ※自家消費分	CO ₂ 削減量(kg) ※売電分	総CO ₂ 削減量(kg)	スギ成木換算(本)
10月	714	221	881	1374	493	213.962	95.914	309.876	22.134
11月	758	165	1102	1695	593	257.362	71.61	328.972	23.498
12月	649	82.9	1513	2079	566	245.644	35.978	281.622	20.115
合計	2121	468.9	3496	5148	1652	716.968	203.502	920.47	65.747

※令和3年度全国平均係数0.000434 (t-CO₂/kWh) スギ1本あたりの二酸化炭素 (CO₂) 吸収量年間14kgで計算

Topic 01 次世代の笑顔を守る、地域社会への継続的支援

【該当する課題】 地域社会への貢献

当社グループは、持続可能な地域社会の実現に向け、次世代を担う子どもたちの支援を最優先事項の一つとしています。今四半期は、10月の「子ども食堂」への支援に加え、12月には「川口乳児院」に対し、長年継続している定例の物品寄附と、同院が新たに挑戦したクラウドファンディングへの資金寄附を実施いたしました。

単なる一時的な寄附に留まらず、クラウドファンディングという新たな支援形態に参加した背景には、施設の老朽化対策や保育環境の維持といった、より構造的な課題解決に貢献したいという強い思いがあります。子どもたちが家庭環境に左右されず、健やかに成長できる環境を整えることは、地域全体の持続可能性に直結します。「地域の子どもは地域で育てる」という意識を全社員で共有し、今後も行政や支援団体との強力なパートナーシップを通じて、実効性の高い支援を継続してまいります。



Topic 02 「健康優良企業 STEP2の認定」取得と安全教育の徹底

【該当する課題】 労働環境改善と健康経営 / 働きがい・人財教育

11月、当社は全国健康保険協会（協会けんぽ）より「健康優良企業 STEP2の認定」を授与されました。これは、前四半期より推進してきた「部署ごとの健康PDCAサイクル」や、独自支援策である「ビクトリーGP保険制度」の導入といった、一連の健康経営の取り組みが公的に認められた成果です。また、認定取得に合わせ、現場の安全を支える「人財教育」も強化しています。11月には社内研修として「丸のこ等取扱い作業従事者教育」を実施し、労働災害の未然防止と専門スキルの向上を図りました。私たちは、従業員の心身の健康と安全が確保されてこそ、お客様に高品質なサービスを提供できるという信念を持っています。今後も「健康経営」を単なる制度に留めず、一人ひとりが生き生きと活躍できる職場文化へと昇華させていきます。



Topic 03 プロフェッショナルとしての環境品質と地域信頼の維持

【該当する課題】 廃棄物と資源 / 生活環境・公害対策 / カーボンオフセット

産業廃棄物処理・解体業を営む当社にとって、法令遵守と環境負荷低減は事業継続の根幹です。10月に群馬県、11月に茨城県において「産業廃棄物収集運搬業優良認定」をそれぞれ更新いたしました。この認定は、遵法性、事業の透明性、財務の健全性が高いレベルで維持されている証であり、お客様に安心して業務をお任せいただくための信頼の基盤となります。

ソフト面では、10月に収集部を中心とした「エコドライブコーチング研修会」を実施しました。日々の運行における燃費向上と安全運転を再徹底することで、太陽光発電による「つくる電力の脱炭素」と並行し、移動に伴う排出量の削減（スコープ3対策）にも取り組んでいます。また、「埼玉県秋のプラごみゼロウィーク」に合わせた地域清掃活動も継続しています。プロとしての確かな品質と、地域の一員としての誠実な活動の両輪で、これからも地域環境の守り手としての責任を果たしてまいります。

